科目名	小児看護学対象論【疾患】	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間（回数）	30(内15)

＜科目設定理由＞

小児医療は年々進歩を続け、数多くの子どもの命を支えている。現代は先進医療が進み、昔は救えなかった命を救い守り続ける技術も進歩している。そのため小児を看る看護師には、症状が急激に変化しやすい小児の身体的特徴を十分理解し、疾患に応じた症状を捉え正しく状況をアセスメントする能力が求められる。小児が罹患しやすい疾患の病態、診断や治療について理解することが重要であることの認識を基にこの科目を設定する。

学習目標	1. 小児の疾患の病因、病態、検査、治療が理解できる 2. 小児の自覚症状や身体所見と関連した病態生理を理解できる。
学習内容	1. 新生児疾患/遺伝性疾患・染色体異常 2. 代謝・内分泌疾患/免疫・アレルギー・膠原病 3. 感染症 4. 呼吸器疾患/循環器疾患 5. 腎・泌尿器疾患/消化器疾患 6. 血液・腫瘍疾患/神経・筋・精神疾患 7. 外科疾患 8. 眼疾患
授業形態	講義
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	ナーシング・グラフィカ　小児看護学③小児の疾患と看護
参考資料・図書	ナーシング・グラフィカ　小児看護学①小児の発達と看護 ナーシング・グラフィカ　小児看護学②小児看護技術
履修上の留意事項・受講条件	予習においてはテキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読しておく。復習においては学習内容を自主的に整理し、理解できない箇所を明確にしながら主体的に学習すること。